

【研究課題】 日本人意味性認知症における訓読みに対する音読みの優位性

【研究期間】 2003年1月1日から2022年3月31日まで

【対象となる方】 1996年8月1日から2022年3月31日まで、当院神経内科を受診した意味性認知症の患者の方

#### 【研究の方法】

当該期間内に当院神経内科を受診し、意味性認知症と診断された方に、標準的な知能テスト、失語症評価バッテリー、著者らのオリジナルの読み書きテスト、音訓読みテストなどを行い、MRI、SPECTと合わせて、評価を行います。このデータと、同じ検査を行った他施設（東京女子医大、大阪市立大、東京大学病院）の患者さんのデータをまとめて、その特徴を明らかにします。

この調査はあくまで過去に行われた診療データを調査するもので、直接患者さんに薬や治療による介入を行うものではなく、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。もちろん患者さんのお名前、生年月日など、本人と特定できるような個人情報には省かれており、患者さんの診療に関する情報が個人を特定できる形で外部に漏洩することはありません。また患者さんから採取された血液などの検体を利用して、新たな項目について測定することはありません。

この研究は三井記念病院医療倫理委員会の承認を得て、実施するものです。

#### 【個人情報保護】

あなたの情報・データ等は解析する前に氏名・生年月日を削除し、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものかわからないようにした上で、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

意味性認知症と診断された方で、この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、主治医にお伝えいただくか、下記の研究責任者まで2022年3月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定できない形で学会や学術誌において発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについては、お問い合わせがあれば開示いたしますので、下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら、主

治医または研究責任者にお尋ねください。

なお研究は三井記念病院医療倫理委員会の承認を受けており、本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

2021年3月11日

**【研究責任者】**

櫻井 靖久

三井記念病院神経内科

東京都千代田区神田和泉町1

電話：03-3862-9111